

ふくい経済トピックス（人口編②）

〈男性が生まれやすい？〉

総務省の統計によると平成 21 年 10 月 1 日現在の日本人男女別人口をみると、0 歳で男性 54.8 万人、女性 52.0 万人と 2.8 万人男性が多く生まれている。この 21 年の年齢別人口を男女別にみると、50 歳以下は男性の数が女性を上回っている。

年 齢（各 歳），男 女 別 人 口

年 齢	日本人人口（H21.10.1）（千人）					福井県人口（H22.4.1）（人）				
	男 女 計	男	女	人口 性比	男女差	男 女 計	男	女	人口 性比	男女差
総数	125,820	61,339	64,481	95.1	-3,142	805,772	389,621	416,151	93.6	-26,530
0 歳	1,068	548	520	105.3	28	7,040	3,621	3,419	105.9	202
1	1,081	554	526	105.4	28	7,210	3,707	3,503	105.8	204
2	1,073	550	522	105.4	28	7,280	3,740	3,540	105.6	200
3	1,062	545	517	105.4	28	7,318	3,746	3,572	104.9	174
4	1,040	532	509	104.5	23	7,028	3,610	3,418	105.6	192
↓										
18	1,199	614	585	105.1	29	8,217	4,260	3,957	107.7	303
19	1,222	627	596	105.1	31	8,299	4,124	4,175	98.8	-51
20	1,258	647	611	105.8	36	8,716	4,401	4,315	102.0	86
21	1,296	668	629	106.3	39	8,884	4,436	4,448	99.7	-12
22	1,337	688	650	105.8	38	8,524	4,288	4,236	101.2	52
23	1,368	706	662	106.7	44	6,201	3,304	2,897	114.0	407
24	1,417	730	687	106.1	43	6,112	3,240	2,872	112.8	368
25	1,444	741	703	105.5	38	6,666	3,419	3,247	105.3	172
26	1,446	742	704	105.3	38	7,042	3,606	3,436	104.9	170
27	1,428	729	700	104.2	29	7,732	3,783	3,949	95.8	-166
28	1,447	738	708	104.3	30	7,742	3,976	3,766	105.6	210
29	1,507	768	739	104.0	29	8,428	4,294	4,134	103.9	160
30	1,546	787	758	103.8	29	8,854	4,513	4,341	104.0	172

特に、23～24 歳では男女の差が 4 万人を超え、「結婚することが難しい」というのも現実問題となっている。

福井県でも、平成 22 年 4 月 1 日現在の男女別人口をみると、0 歳で男性 3,621 人、女性 3,419 人と 202 人男性が多い。この傾向は 40 歳まで続き、本県でも、23～24 歳でこの男女差が 400 人にまで広がっている。つまり、これから結婚という年齢になって、女性の数が

10%少ないということは、結婚相手を見つけるのも一苦労という状況になっている。

ちなみに、福井県は、人口あたりの結婚式場業が全国4位と多く、結婚紹介事業との連携や、県外女性との出会いの場づくりも必要ではないだろうか。

もう一つ結婚に関する話題として、福井県内の初婚年齢は、平成16年と平成21年で比較すると、男性が28.9歳から30.0歳に、女性は27.0歳から28.8歳にと、1.1歳上昇しているが、年齢差の2歳は変わらない。

一方で、再婚年齢では、平成21年の平均で、男性42.4歳、女性38.5歳とこちらは4歳差となっている。

福井県の婚姻件数は約4千件、このうち再婚が700件にまで上っているので、この再婚を対象にしたビジネスの分野も今後可能性があるのではないかと。

〈若年層の県外流出が課題〉

前月号で、「県外への転出」が人口減少の大きな課題と紹介したが、福井県の人口減少の大きな問題が、若年層の人口流出で、これは大学等の進学によって県外に流出した20代前半の人口のUターンが少ないことに起因する。

平成22年3月に福井県内高校を卒業した7,557名の内、大学等への進学者は4,337名、このうち県外の大学、短大への進学者は約3,000名に上ると推測される。この他にも、県外専修学校等への進学が430名余り、県外企業への就職者は150人程と、合計3,580人が県外へ転出している。

高校卒業者の進路状況

	H20.3	H21.3	H22.3	20～22年平均
高校卒業生数	8,007	7,769	7,557	7,778
大学・短期大学等	4,550	4,417	4,337	4,435
県内	1,600	1,600	1,560	1,587
県外	2,950	2,817	2,777	2,848
専修学校等	1,430	1,339	1,427	1,399
県内	803	811	999	871
県外	627	528	428	528
就職者	1,687	1,704	1,485	1,625
県内企業就職	1,538	1,548	1,342	1,476
県外企業就職	149	156	143	149
一時的な仕事に就いた者	—	—	43	—
上記以外の者	336	309	265	303

福井県学校基本調査及び県内大学、短期大学の入学者、就職状況の資料より推計

実際に、住民票等を移動しない場合、この県外転出については把握できないが、福井県

学校基本調査や県内各大学、短大、専修学校の入学者数から推測すると、進路として表2の構造となっていることがわかる。

一方で、県外から県内大学への進学者は800人程度（県外へのUターン就職の状況等から）とみられ、高校卒業と同時に、一時的ではあるが2,700人程度の人口が減少していることになる。（男女の割合はほぼ同数）

これは、平成22年4月1日時点の18歳人口（8,217人）の33%に上り、その多くが大学進学者であることから、4年間この状態が続き、18歳から22歳までの消費の1/3が県外に流出することになっている。

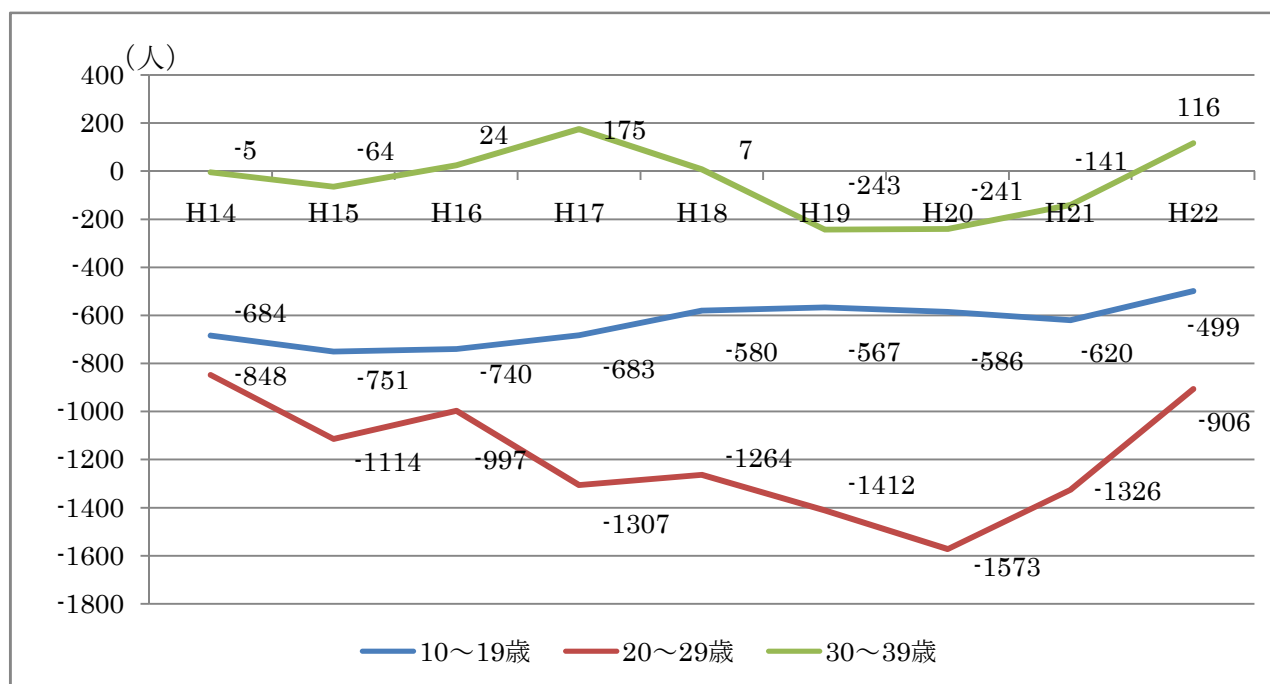
しかし、県外進学に伴う家具等を地元で購入して送るケースも多く見られるが、「現金より品物で」という地元で購入していただく働きかけを行うことが重要である。

〈Uターンの実態〉

福井県Uターンセンターの調べによると、県内高校から県外の大学、短大への進学者数は、毎年2,900人余りに上り、その内県内企業へUターン就職した者は25%程度と、約2,000人が福井県に戻ってこないという結果である。実態は、この結果通りということはないにしても、相当程度の学生が県外就職していることは間違いない。

この状況を把握する方法としては、住民票の移動を追いかけるしかないが、年代別の県外（国内）への移動状況をグラフにしたのがグラフ1である。ここでは10代、20代、30代別に各年中（前年10月～9月まで）の転入、転出の差を表しているが、平成20年秋のリーマンショック以降、20歳代の県外流出が大幅に減少してきていることがわかる。それでも、高校卒業から就職に至る10代、20代の県外流出は1,400人に上っている。

一方で、30歳代では、リーマンショックの後、県内へのUターンが増加し、県内企業にとっては、経験あるUターン人材の確保のチャンスともなっている。



（福井商工会議所所報 平成23年7月号掲載）

追加資料（平成23年3月末の進学、就職者数）

高等学校卒業生（全日制・定時制）

	大学等進学者			専修学校 等入学者	就職者	上記以 外	合計	
	大学	短大	その他					
23年3月末	4,236	3,571	635	30	1,400	1,661	274	7,571

※ただし、就職者の数は、就職しかつ専門学校に入学する者を除く

大学等進学者の内訳（人）

区分	進学者数	構成比
人文科学	667	15.7%
社会科学	961	22.7%
理工学	1,008	23.8%
農学	62	1.5%
医歯学	100	2.4%
薬学	47	1.1%
看護学	246	5.8%
家政学	257	6.1%
教育学	477	11.3%
その他	411	9.7%
計	4,236	100.0%

県外進学先の主なもの（人）

都道府県	進学者数		
	大学	短大	
1. 京都府	436	393	43
2. 石川県	413	387	26
3. 愛知県	375	352	23
4. 東京都	335	322	13
5. 大阪府	321	291	30
6. 兵庫県	139	128	11
7. 富山県	95	94	1
8. 岐阜県	89	58	31

（進路実態調査：福井県教育庁より）

福井県内大学等卒業生の就職状況（人）

	大学	短大	高専	専修学校	合計
求職者数	1,296	435	126	379	2,236
就職数	1,202	410	126	350	2,088
（県内）	602	378	48	320	1,348
（県外）	600	32	78	30	740
就職率	92.7%	94.3%	100.0%	92.3%	93.4%

（福井労働局資料より）

県内出身県外大学・短大進学者のUターン状況調査結果

（A）県外大学・短期大学進学者数	3,017
（B）Uターン就職者数	787
Uターン率（B/A）	26.1

（福井県ふるさと営業課調査資料より）

（A）＝各高等学校より県外大学・短大に進学した者（高専・専修除く）を調査したもの。

（B）＝従業員100名以上の事業所及び職業安定所に求人申し込みのあった事業所を対象に調査